

未来への協働

2022年4月27日(水)
第340号

発行所 未来への協働

ホームページ
https://kyodomirai.org

〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306-3512
郵便振替
00940-8-213061

Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp

●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 安保法制下の9条、自衛隊 高作正博さん
- 3面 食と農が喫緊の課題 藤原辰史さん
- 4面 資本の暴走と国家の機能不全
- 5面 原発が争点 新潟知事選
- 6面 投稿 ロシア人は戦争を望むか

紙面へのご意見、ご感想を

上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

扇状地

1968年8月20日、ソ連を主力とするワルシャワ条約機構軍50万はチェコスロバキアに侵攻した。「プラハの春」を圧殺するためであった

ウクライナ反戦

核の威嚇やめよ

原爆ドーム前に若者たちの声



原爆ドーム前の集会で発言するカクワカ広島共同代表の田中美穂さん(4月10日、広島市)

「ロシアのウクライナ 侵攻反対」「核兵器の使用や威嚇をやめよ」。広島市の原爆ドーム前でカクワカ広島(核政策を知りたい広島若者有権者の会)が呼びかけて集会が開かれた。750人が集まった(4月10日)。

長崎に原爆が投下された11時2分に1分間の黙祷。カクワカ広島共同代表の田中美穂さんが「いま立っているこの場所から、原爆で亡くなった多くの人びとの怒りや無念、悲しみを感じずにはいられない」「広島市民が、ここから戦争・核兵器に反対の声をあげる。それは世界に大きなインパクトになる。戦争で解決できることは何もない。核兵器の使用も許さずも許さない」と訴えた。「広島・長崎の被爆者



米核実験に抗議して、原爆慰霊碑前で座り込み(4月15日、広島市)



「ロシア軍は撤退を!」神戸市内をデモ(4月9日)

4月9日、神戸市内でウクライナ侵攻抗議集会とデモが行なわれた(呼びかけ「市民デモHYOGO」)。120人が参加し、「即時停戦を求める申し入れ」をロシア大使館に送付した。「戦争反対」「侵攻やめよ」などをコールし、週末で賑わう三宮、元町を歩いた。5月7日、第2波デモを予定。「ロシア軍は撤退を」の声を大きく。

米核実験に抗議 原爆慰霊碑前で座り込み

12日 広島

アメリカが昨年6月と9月、ネバダ州実験場で核爆発をとまなわない臨界核実験をしていたことがわかった。核兵器廃絶広島平和連絡会議(広島県被団協など12団体)は4月13日、原爆慰霊碑前に45人が座り込み抗議した。参加者は、臨界前核実験に抗議する横断幕を掲げて座り込んだ後、原爆犠牲者を追悼して黙

アメリカが昨年6月と9月、ネバダ州実験場で核爆発をとまなわない臨界核実験をしていたことがわかった。核兵器廃絶広島平和連絡会議(広島県被団協など12団体)は4月13日、原爆慰霊碑前に45人が座り込み抗議した。参加者は、臨界前核実験に抗議する横断幕を掲げて座り込んだ後、原爆犠牲者を追悼して黙

祈した。 箕牧智之・広島県被団協理事長は、「米国の影で核実験をしていることを口実に、ロシアがウクライナで核兵器を使ってもいいと言えは大変なことになる。核は廃絶しなさい」と危機感をあらわにした。座り込みとともに、バイデン大統領あて抗議文をアメリカ駐日大使館に送った。

▼チェコ首脳部は緊急事態を発して軍隊を兵舎に押しとどめた。秘密の防衛ラジオ網は、非暴力的な抵抗運動を呼びかけ、8カ月間にわたってソ連の完全支配を寄せ付けなかった▼敗北したのは、チェコ首脳部が降伏したことによるものであって、抵抗運動が敗北したわけではなかった。もし、チェコ軍が軍事的に応戦していれば、膨大な犠牲者を出したであろう。そう説くのはアメリカの政治学者ジョン・シャープだ▼「非暴力のマキャヴェリ」という異名を持つ彼は「抑圧と専制政治を打倒し、侵略を抑止・撃退する潜在的力が量に内在する」という。それは軍事力ではない。「非暴力闘争」のことである。その有効性を示した例が68、69年のチェコスロバキアの闘いだったのだ▼ウクライナの戦争が泥沼化するなかで、「非暴力の優位性」を考えてみたい。(露)

ウクライナ侵攻と改憲論

安保法制下の9条 自衛隊

高作正博さん(関西大 教授)の憲法勉強会から。日本を巡る状況はもちろ

「ロシアのウクライナ侵攻と、日本の改憲論への動き」。前号に続き、要旨を紹介する。(竹田)

政府の憲法解釈、見解は「自国を守るための必要最小限度の自衛力保有」を可能としている。

「自国を」は、安保法制により内容が変化した。核兵器保有も、「必要最小限度の範囲で可能」(政

策レベルで保有しない)とする。敵基地攻撃能力の保有も、同じ見解である。動き出してからではなく、いまから反対運動を再構



刺激し、緊張関係が高まる。外交こそ政治の仕事であり、軍拡には慎重であるべき。核兵器保有論は、対米関係にも影響する。アメリカは日本の対米不信と受けとるだろう。

「米の核の傘に代わる兵力」とは、核も含む膨大な軍備を持つこととすることを意味する。莫大な費用となり大きな疑問であり、現実的でもない。

「議論はするべき」の意見もあるが、そのような議論が何をもたらすか。憲法改正論も含め、とても「筋がいい議論、現実的議論」とは言えない。

ウクライナ情勢を受けた改憲議論があるとしても、浮き足立って行なうべきではない。わかり易さに頼らない

民主主義への挑戦と変わったロシアの行動が、言う人たちがいるが、自衛隊は変質しており、それが憲法に入ってくる

敵基地・核保有・核共有の軍事侵攻に反対、誰の武力行使にも反対」を貫く。「人道的な介入」も、

共有が問題となる。それは確実に周辺諸国を強く

4月6日夕、戦争あかネットワークの松岡さんロックアクションは、改憲の動きが加速している

「憲法審査会の幹事会は今まで自公だったが、衆議院選挙後は維新の会と国民民主党が幹事会入

「戦争や自然災害を利用して、日本の戦争国家化を図る動きがある。警察法改悪や経済安保法と

一方ロシアは、14の国と接する国境線は2万キロにおよぶ。人口減少が続いており、総兵力は90万人。陸軍はたったの33万人で戦車は旧式であ

ろ。ロシアを軍事大国とするのは過大評価である。し書きを付けることで、

9条を変えてはならない 平和を愛する民衆の連携を プーチンの憲法改正

2020年プーチン大統領は憲法を改正した。メディアを利用して、「みんなの手で憲法を変えよう」「みんなが参

共有、原発再稼働を提言している。維新支持者は核共有は受け入れられるのか。

この後、関電の原発マネー不正還流追及の経過報告と市民の力で関電の悪徳幹部を起訴に追いこ

大阪府の財産を守る会の幸田泉さんが、カジノへの市税投入(松井市長は

国家に対して「戦争してはならない」と最も強い縛りをかけているのが日本国憲法だ。安倍政権は2015年の閣議決定

で、集団的自衛権の限定行使を容認したが、ウクライナ事態で集団的自衛

自民党改憲案は9条を変えない限り、海外における武力行使はギリギリのところまで抑えられる。平和を愛する民衆が連携して、ロシアの軍事行

動を抑え込み、NATO や軍需産業の市場開拓に協力しない、税金をそう削除したりするものにとが重要だ。

維新問題と左翼の課題 (第2回) 請戸耕市

資本の暴走と国家の機能不全

第1回では、グローバル化の特徴を①労働のグローバルな取捨選択、②金融の高利化、③グローバル覇権の拡大の3点で見た。今回は、グローバル化の本質的な意味だ。事態が根本的な次元なので、その把握も原理的にならざるを得ない。ごく簡潔に言えば、「資本の私的性格が、社会的性格から乖離して暴走している」。どういふことか？

資本とは・国家とは

資本とは、人間労働の客体的諸条件(社会的自然、生産諸手段、社会的協働性、生産諸能力など)が、人間にたいして対立的に自立化し主体化したもの。その資本が、価値を増殖するという「私的動機」で運動し、その運動(市場における交換と競争)を通じて「労働の社会的連関」を媒介し、間接的に社会的な便益をも実現する。あくまでも「私的」だが、媒介的に「社会的」でもある。だから、資本(主として「私的性格」とは、「私的性格が提起されてくるが、しかし、それにはたいして、国家は、あくまでも社会的なものも排除しつつ」「公共」の内に回収・変換し、もって擬制的に統合する。しかし、矛盾は絶えず亢進していくので、国家は、さらに公共的な諸制度を拡張することで対応せざるを得ない。

近代の枠組みの破綻

ところが、前回見たように、グローバル化した資本の運動は、もはや、媒介的にも「社会的」ではなく、社会と自然にたいする破壊者でしかない。まさに、資本の私的性格が、その社会的性格から乖離し暴走している。そ

て代表される政治(の台頭)である。二つは、グローバル化とグローバル覇権拡大にたいする逆流・対抗である。米軍アフガン撤退、中国の覇権的対抗、そしてロシアによるウクライナ侵略戦争。この戦争は、資本のグローバル化とアメリカのグローバル覇権拡大(とりわけNATO拡大)と、その攻勢によって国家の危機を深めるロシアの覇権的対抗との衝突であり、「グローバル化の破綻の大戦争への転化」である。そのために破壊と虐殺が横行されている。さらに三つは、グローバル化による地球環境破壊、新型感染症拡大である。

だが、四つは、資本のグローバル化によって労働のグローバルな連関が(対立的にはあるが)形成され、他方で、資本の私的動機に媒介されていた社会的生産から、その私的動機が引き剥がされていく。つまり、資本の自立化・主体化によって人間の意識の外に追いやりられていた「労働の社会的連関」が、アンシエーション(自主的に結合した民衆が協働して、政治・経済・社会を組織する自治的な社会システム。国家にも

乖離し暴走している。そして、国家の制御を外れて無政府的に暴走する資本の運動を、もはや国家は公共的に総括できない。アメリカといえども、国家はあくまでも「国民」という枠組みのものであって、「グローバルな公共性」にはなり得ない。公共的総括としての国家の機能が不全に陥っている。かと言って、「世界政府」や「帝国(超国家的主権)」が現れ出る気配は皆目ない。

危機とアンシエーション

今や世界は20世紀の経験を超える危機に逢着している。一つは、グローバル化と、国民国家の機能不全にたいして、ナショナリズム(国家の危機に際して、国家に固執し、国家的な統合強化と対外的な覇権拡大を追求する政治)や、ポピュリズム(既成政党や左翼や労働組合に代表されなかった普通の人びとの不満・不安が、権威主義的な人格によっ

新たな弾圧の動きに警戒 滋賀で関生支援の集会

滋賀で関生支援の集会



副委員長が弾圧の経緯を説明した。支援団体からは、関西合同労組、なまユニオン、若狭の原発を考える会、大阪全労協が発言した。

こうした動きから新たな弾圧が警戒されるなか、4月10日、警察・検察は労働組合つづしをすな！ 4・10滋賀集会が大津湖岸なぎさ公園であった(参加120人、写真上)。主催は労働組

憲法28条や労働組合法を無視した関生弾圧。今年に入って、滋賀県警がオウミアサノの争議に不当な恫喝介入をしていたことや、大津地検の検事が取り調べで組合脱退勧奨を執拗に行っていたことが明らかになった。

以上、グローバル化について見てきたが、現在は、このような歴史的な大局にある。その中で、まさに大阪問題・維新問題が焦点になっている。次回、その問題に入る。(つづく)

和田会長は解決の責任を取れ

サンケン電気に抗議行動

「会社解散・全員解雇」とたたかう韓国サンケン労働組合に連帯し、サンケン電気大阪支店にたいする抗議行動が、4月13日取り組まれた(写真上)。初夏を思わせるような暑さの中、20人以上が参加。6月株式会社でサンケン電気の和田節会長の意志を示した。



「会社解散・全員解雇」とたたかう韓国サンケン労働組合に連帯し、サンケン電気大阪支店にたいする抗議行動が、4月13日取り組まれた(写真上)。初夏を思わせるような暑さの中、20人以上が参加。6月株式会社でサンケン電気の和田節会長の意志を示した。



憤懣に耐えない

トガシさんの「沖縄便り」③

このところ、沖縄のコロナ感染者数が千人をはるかに超える日が続いています。復帰50年を意識しての県民大会が4月30日に予定されていましたが延期となり、連動して辺野古への大結集が自粛モードになりそうです。



さらには辺野古新基地建設、島々への自衛隊基地建設、ミサイル持ち込みなど、平穏で平和な沖縄像とかけ離れたものにされています。1972年の日米返還協定の調印式に欠席した屋良主席は、日記にこう書いています。

「屋良建議書は実現されたのか」です。「屋良建議書」とは、琉球政府主席であった屋良朝苗が、本土復帰に際し、県民の要望や将来あるべき沖縄の姿などをまとめたもの

「涙がにじんだ事は事実。遂に来るべき日が来た。しかし、その内容に差し出し、さささと「独立」した日本本土政府の責任感ほどのようなものではないか。2013年は関係のない米国の戦略的強烈な基地の中で生活を強いられる事はたしかに理不尽であり、憤懣にたえない」(一条の光

「屋良建議書は実現されたのか」です。「屋良建議書」とは、琉球政府主席であった屋良朝苗が、本土復帰に際し、県民の要望や将来あるべき沖縄の姿などをまとめたもの

「涙がにじんだ事は事実。遂に来るべき日が来た。しかし、その内容に差し出し、さささと「独立」した日本本土政府の責任感ほどのようなものではないか。2013年は関係のない米国の戦略的強烈な基地の中で生活を強いられる事はたしかに理不尽であり、憤懣にたえない」(一条の光

まい・しよっと (26)



スニーカーの裏底？ いえ、2200年前の秦の兵士の靴の裏(京都・京セラ美術館「兵馬俑と古代中国展」にて。撮影・K)

左の「跪射俑」(弩を持って待機中)の後ろに回ると、この靴底が。

8000体以上といわれる兵馬俑は、人物の顔が一人一人違うということでも有名だが、靴の底までこんな細かい仕事が行われていたとは。

今も次々と発見があり、すべての発掘調査が終わるまでにはまだ100年かかるそうだ。

撮影OKだったのがうれしい。(5月22日まで開催)

1960年代の歌声運動で唄われた歌には、名曲『カチューシャ』に代表されるロシア民謡がたくさんあった。その一つに『ロシア人は戦争を望むか』があった。60年以上も昔のことなので正確には憶えていないが、歌詞はこんなようだった。

「戦争を望むかロシア人に聞け 広い野や畑緑の大地に 白樺の陰でまどろむ兵士に君よ聞いて みよ ロシア人が戦争を望むかと…再び我らの祖国の大地に 兵士の血潮を流してはならぬ 帰りを待つ母や若い妻たちに君よ聞いて みよ ロシア人がロシア人が戦争を望むかと…」

米ソ対立の時代、ソ連(ロシア、ウクライナ、白ロシア…)は平和勢力の先頭に立つ国と多くの人に考えられていた。私もそう信じていた。軍民合わせ、第二次世界大戦の戦死者が一番多いのはソ連2000万人、次がドイツ500万人、日本は300万人と言われていた。二度と戦争はしたくない」という気持ちがあふれていた時代だ。

その後、米ソの対立競争は極限に達し何度か核戦争の瀬戸際までいった。やがてソ連はその政治的復活、身近な敵を次々とつくり出すナチスばかりのやり方だった。手間暇のかかる民主主義より独裁体制の方がはやく、安心・安全社会に行けるとロシアの多くの人が思ったのだらう。自分たちの邪魔をするものは、すべてナチスと呼ぶ。かつてにも手を携えてナチスドイツと戦ったウクライナも、艦「モスクワ」が、火災ナチスに見えるようになったのかもしれない。

投稿

ロシア人は戦争を望むか

兵庫 石塚健

ロシア・ウクライナに引けばいいと思っていられる人たちがいる。1兆1千万円のミサイルで1台1億円の戦車が破壊される時、作った軍需産業は儲かる。軍需産業は「死の商人」と呼ばれたらだっただろうか。ロシアの大統領選挙の結果、現場目線の扇状地。ライナ停戦(み)／ウクライナ、ロシア市民への富樫さんの目線。沖縄の体験からこのコーナーでは、読者のみなさんから寄せられたご意見やご感想を紹介いたします。

